

【保存版】防災ハンドブックにはさみ込んで保存しましょう。

外水ハザードマップ (河川による被害)

このマップは、郷瀬川・新郷瀬川と新川流域、入鹿池(裏面)の浸水想定を示しています。

※予想される浸水深が、実際の浸水深と異なる場合があります。また、このマップに掲載されていない地域は予想区域外となっていますが、予想区域以外においても浸水が発生する場合があります。

郷瀬川・新郷瀬川

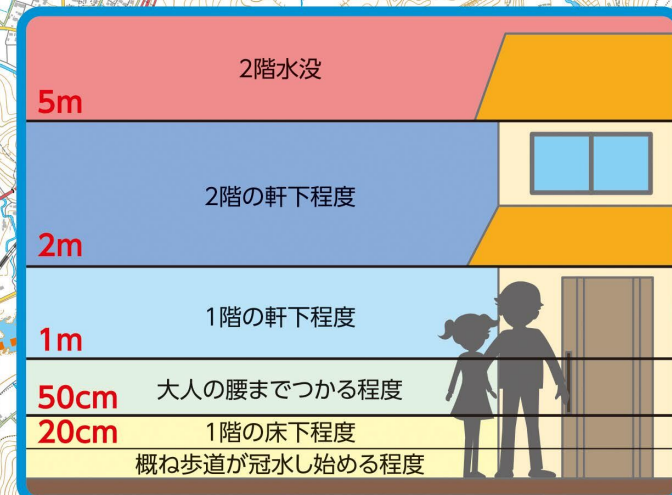
1,000年に1回程度の降雨 想定最大規模

郷瀬川・新郷瀬川については、愛知県が公表した「木曽川水系 郷瀬川流域 浸水想定区域図」をもとに作成しました。

この図は、想定最大規模の降雨(郷瀬川流域の24時間総雨量790mm)により、郷瀬川流域の対象河川が氾濫した場合に想定される浸水深を示しています。

※5mごとの格子で表された地盤高と25mごとの格子に分割して計算した結果をもとに算出した結果を表しています。

浸水深の目安



凡 例

- ▼避難施設
 - 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
 - 指定緊急避難場所
 - ※①・②は避難施設を示しています。
- ▼記号
 - 大山市
 - 行政界
 - 危険箇所(浸水する可能性の高いアンダーパス)
 - 要配慮者利用施設(浸水する可能性の高いアンダーパス)
 - 水位計
 - 水位観測所
 - ライブカメラ
 - 市役所
 - 消防署
 - 警察署
 - 国道
 - 県道
 - 鉄道
 - 鉄道駅
 - 踏切

木曽川水系 郷瀬川・新郷瀬川 浸水想定区域図

- 2.0~5.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

防災重点農業用ため池

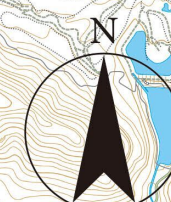
決壊した場合に下流域への影響が大きいため池

家屋倒壊等氾濫想定区域
(早期避難が必要な区域)

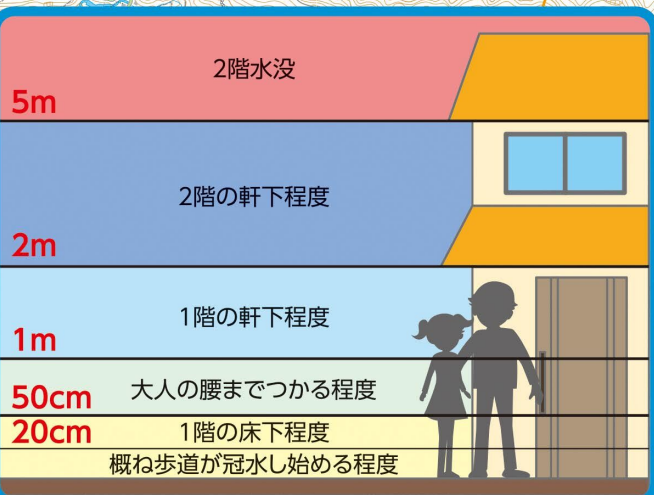
一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもらたすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸浸食が発生することが想定される区域

氾濫流による家屋の倒壊

河岸浸食による家屋の倒壊



浸水深の目安



凡 例

- ▼避難施設
 - 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
 - 指定緊急避難場所
 - ※①・②は避難施設を示しています。
- ▼記号
 - 大山市
 - 行政界
 - 危険箇所(浸水する可能性の高いアンダーパス)
 - 要配慮者利用施設(浸水する可能性の高いアンダーパス)
 - 水位計
 - 水位観測所
 - ライブカメラ
 - 市役所
 - 消防署
 - 警察署
 - 国道
 - 県道
 - 鉄道
 - 鉄道駅
 - 踏切

新川流域

1,000年に1回程度の降雨 想定最大規模

新川流域については、愛知県が公表した「庄内川水系 新川流域 浸水想定区域図」をもとに作成しました。

この図は、想定最大規模の降雨(新川流域の24時間総雨量751mm、五条川流域(上流)・大山川流域の24時間総雨量815mm、青木川流域の24時間総雨量805mm、支川の24時間総雨量836mm)により、新川流域の対象河川が氾濫した場合に想定される浸水深を示しています。

※5mごとの格子で表された地盤高と25mごとの格子に分割して計算した結果をもとに算出した結果を表しています。

庄内川水系 新川流域 浸水想定区域図

- 2.0~5.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

防災重点農業用ため池

決壊した場合に下流域への影響が大きいため池

家屋倒壊等氾濫想定区域
(早期避難が必要な区域)

一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもらたすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸浸食が発生することが想定される区域

氾濫流による家屋の倒壊

河岸浸食による家屋の倒壊

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R.6.Hs.358

(令和7年2月作成)

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R.6.Hs.358

(令和7年2月作成)